

秋田市中心卸売市場
場内衛生アンケート回答
結果について

市場管理室

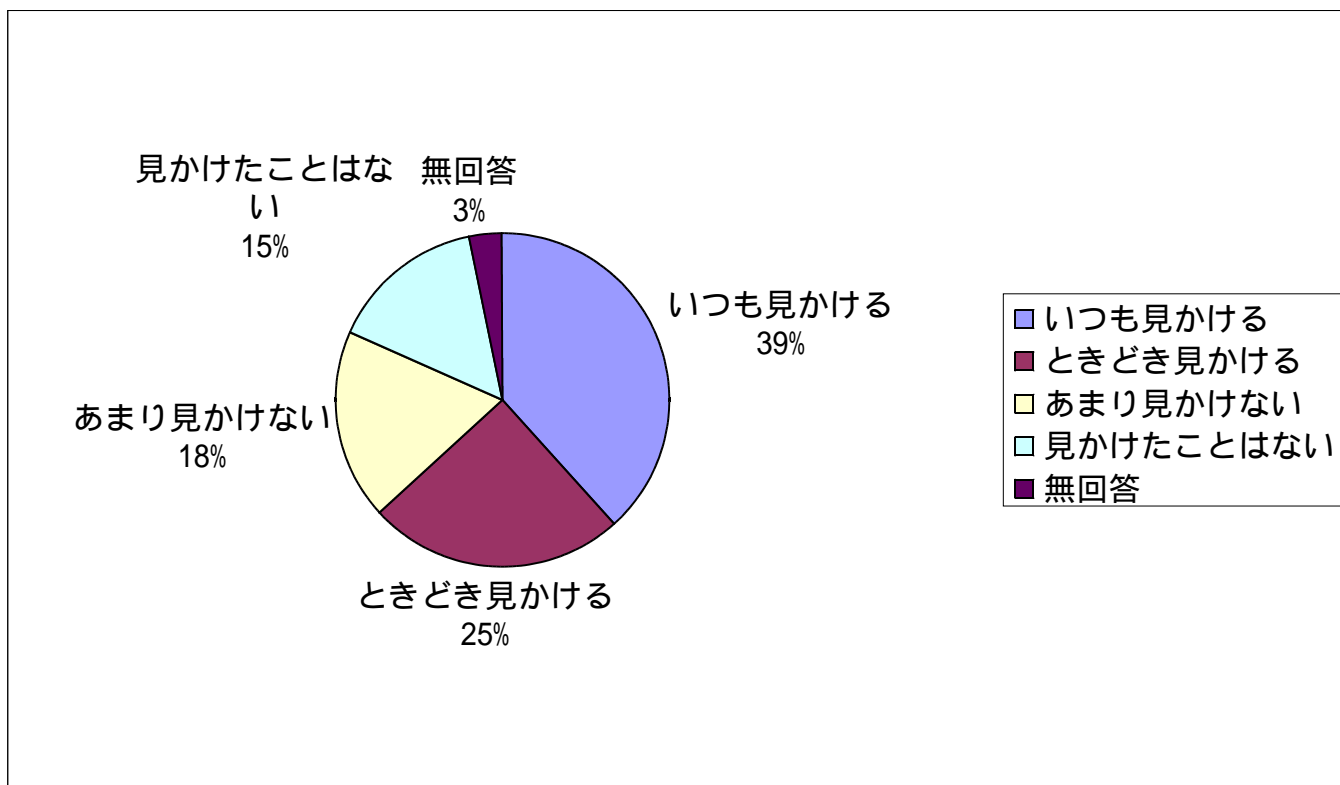
場内衛生アンケート回答まとめ

このアンケートは、品質管理の高度化に関する現状把握と意識の啓発を図るとともに、施設管理者として今後の事業実施に役立てるため、平成18年7月18日から25日までの間に実施しました。

対象は、当市場に勤務する者の中から無作為に抽出した50人と、各社において選出している品質管理責任者36人の計86人で、65人から回答をいただきました。（回答率は76%）

1. 卸売場での喫煙

いつも見かける	25
ときどき見かける	16
あまり見かけない	12
見かけたことはない	10
無回答	2



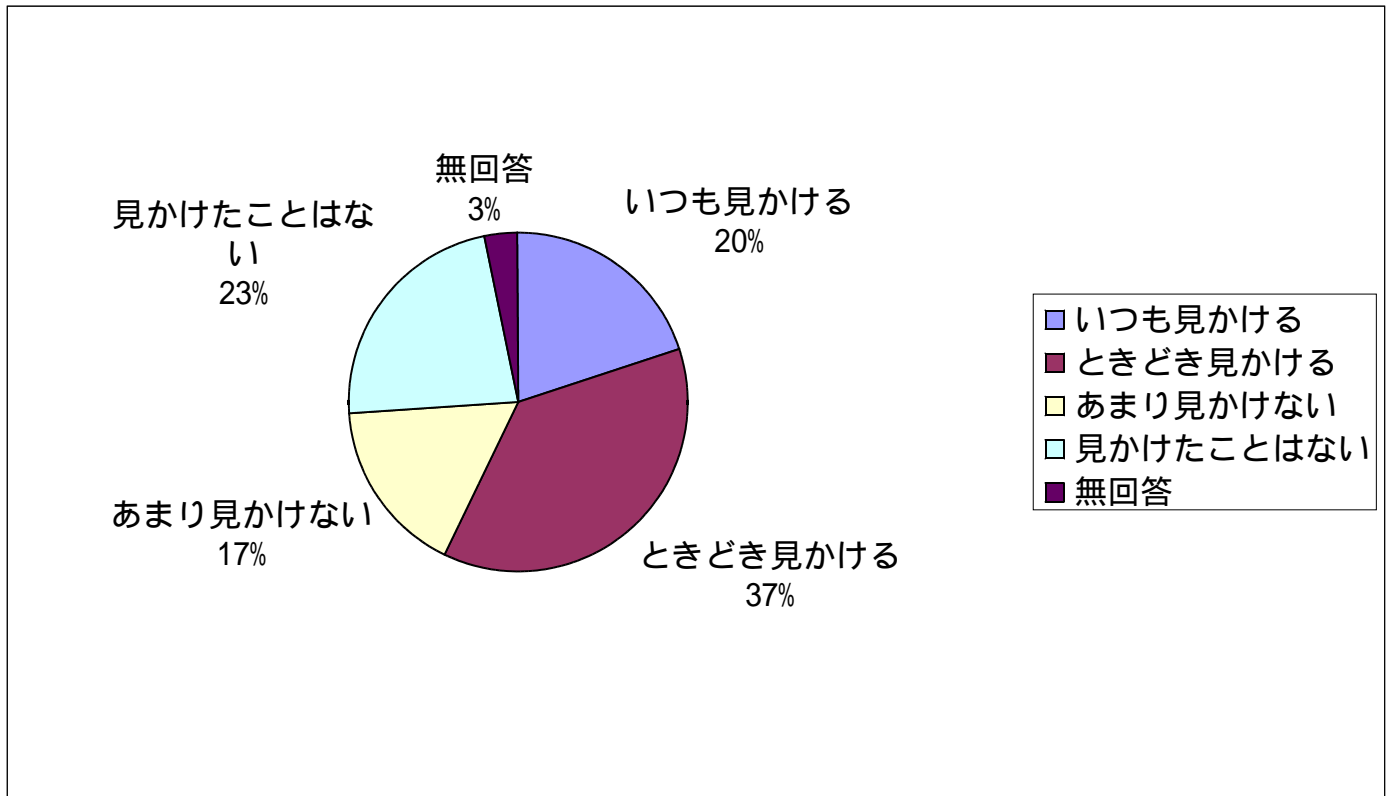
品質管理の観点から喫煙や飲食を制限していますが、アンケートの結果、卸売場での喫煙について「いつも見かける」「ときどき見かける」の合計が64%となっており、卸売場内の喫煙が日常化していることがわかりました。

喫煙の問題については「食品衛生上卸売場内は禁煙にするべき」「吸い殻の投げ捨てが迷惑」「投げ捨てによる火災が心配」「商品への臭いの付着が心配」等の意見が寄せられています。

市場内の団体等と一丸となって、禁煙対策を進めていきたいと考えています。

2. 卸売場での飲食

	回答数
いつも見かける	13
ときどき見かける	24
あまり見かけない	11
見かけたことはない	15
無回答	2

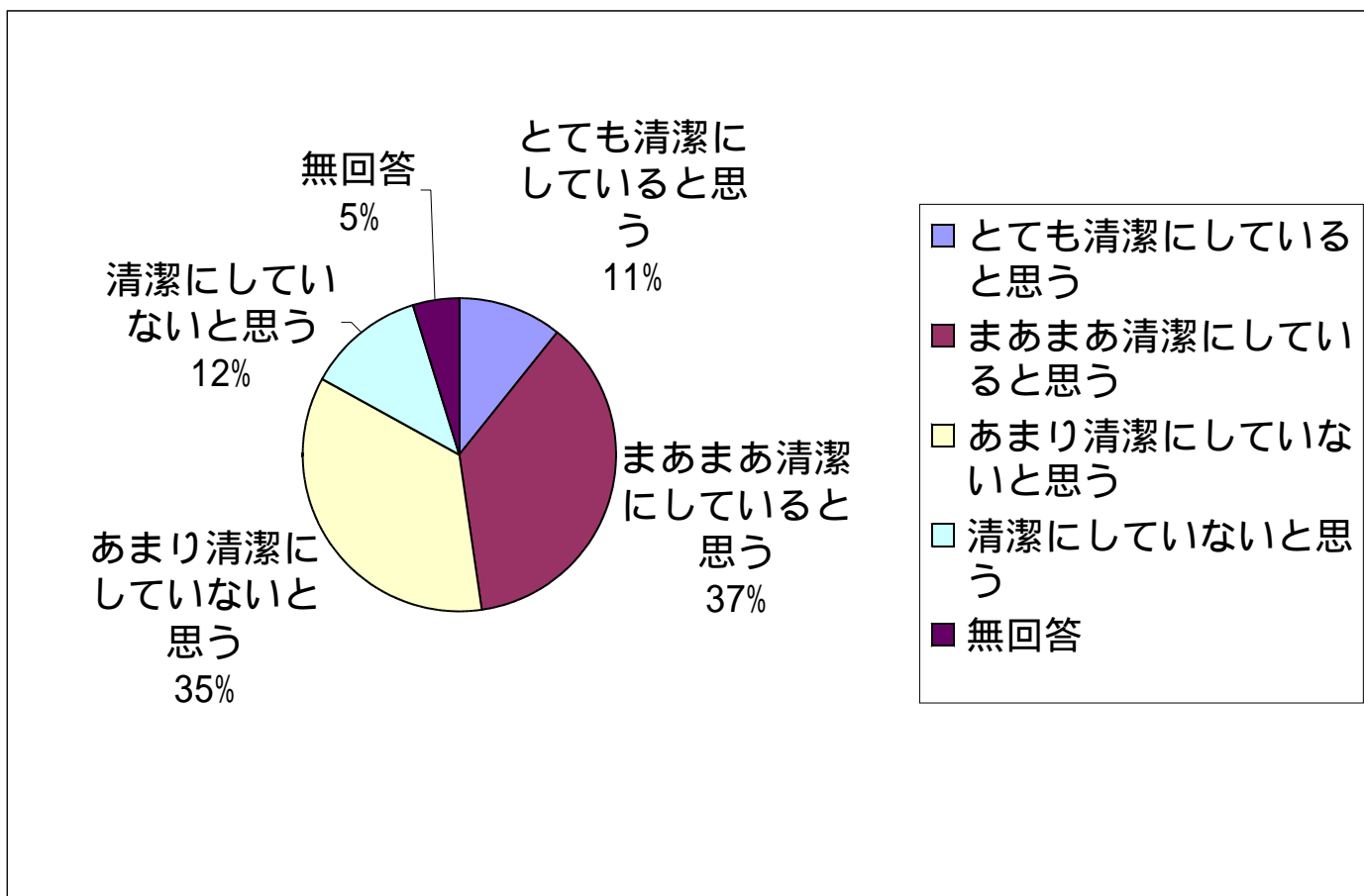


卸売場内での飲食については、「いつも見かける」「ときどき見かける」の合計が57%となっており、卸売場でコーヒーなどの飲食も日常化しているようです。

衛生面から卸売場での飲食は控えるべきであり、これについても卸売場の禁煙と同様に市場内の団体等と協力して周知徹底を図っていく考えです。

3. 売場、運搬車、器具を清潔にしているか

	回答数
とても清潔にしていると思う	7
まあまあ清潔にしていると思う	24
あまり清潔にしていないと思う	23
清潔にしていないと思う	8
無回答	3



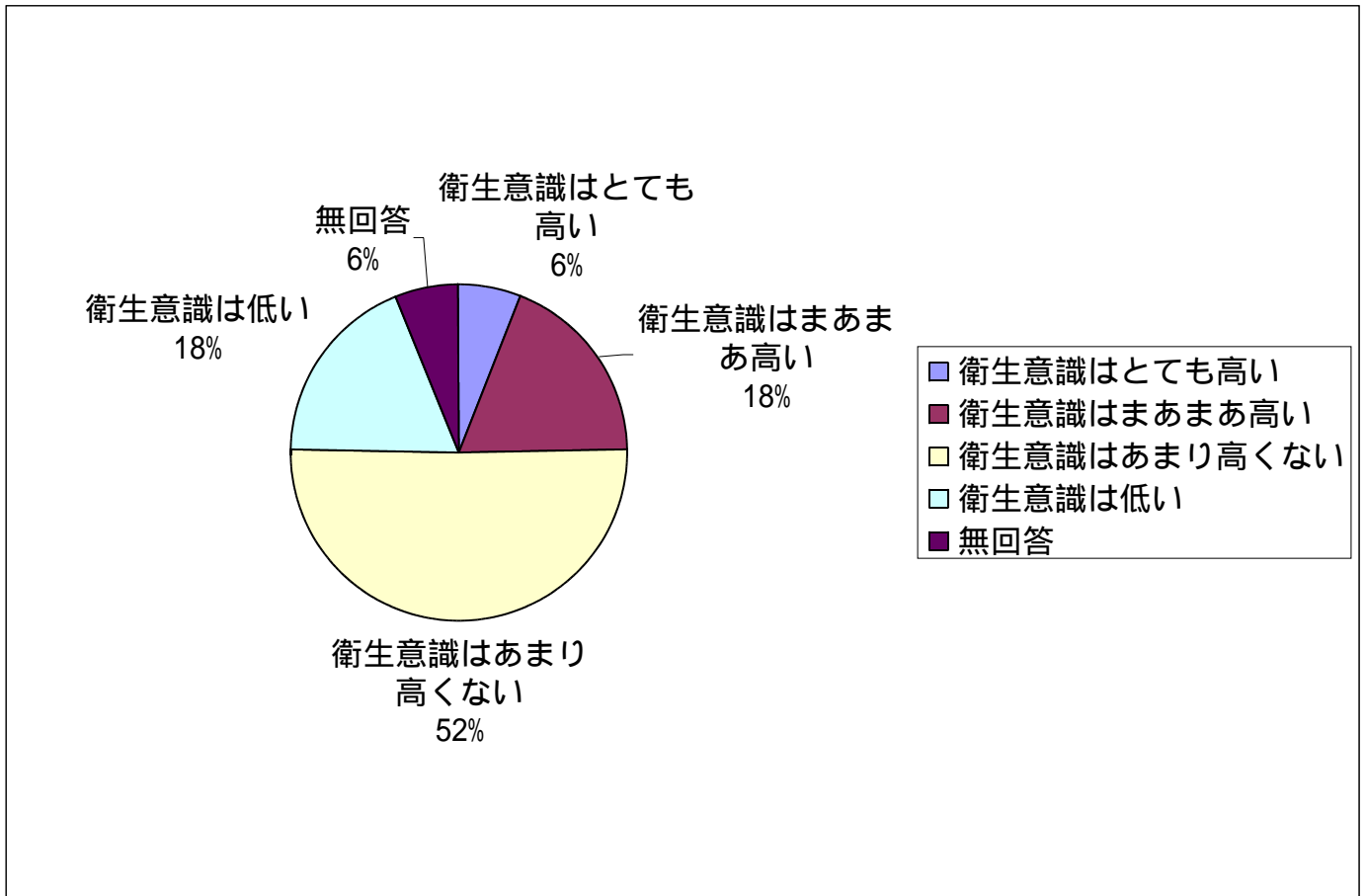
「清潔にしていると思う」「まあまあ清潔にしていると思う」の計が48%、「あまり清潔にしていないと思う」「清潔にしていないと思う」の計が47%と回答がちょうど2つに分かれました。

今後、衛生意識についての講習会や、品質管理責任者の意識の向上を図るための研修会等を実施し、次回のアンケートでは、市場利用者の誰もが清潔にしているという回答が増えるように努力していかなくてはならないと考えます。

また、売場の舗装状態の悪化や、排水柵の状態についても意見が寄せられました、これについては市場管理室で計画的に改善していきます。

4. 卸売場に入出入りする人たちの衛生意識

	回答数
衛生意識はとても高い	4
衛生意識はまあまあ高い	12
衛生意識はあまり高くない	33
衛生意識は低い	12
無回答	4



「衛生意識はあまり高くない」が単独で52%という回答でした。「衛生意識は低い」とする回答と合計すると70%という高い数字になることから、アンケートの回答者は、市場内で働く人々の衛生意識について物足りなさを強く感じているようです。

建物が30年を経過していることから、老朽化が衛生軽視に繋がっているという意見や、リフォーム等を考えてはどうかという意見もありました。また、青果物はそのまま食べることがないことから、衛生について意識が低いといった意見も寄せられています。

5. 品質管理においてこれから実施すべき項目

	回答数
ターレット、フォークリフトの無公害化	34
売場の低温化	45
保冷車の導入促進等配送段階での温度管理の徹底	26
取引後の商品の速やかな搬出	31
容器の破損や衛生状態の確認	10
品質管理向上に向けた研修会および講習会の実施	18

売場の低温化の次にターレット・フォークリフトの無公害化があがりました。これは、現在の卸売場の空気環境が良好とは言えない状況だということの表れと考えられます。

排気ガスについては、商品だけではなく、現場で働く職員の健康にも影響が出るのではないかと心配する意見も寄せられました。

また、売場全体の洗浄や、新たな荷下ろし場の建設をした上でなら、「無公害化」を含む品質管理の事業の実施が可能になるとする意見もありました。

6. まとめ

中央卸売市場は、安全・安心を求める消費動向を意識した品質管理などが求められています。今回のアンケートや寄せられた意見は、それを市場内からも裏付ける結果となりました。

市場管理室としても、アンケート結果と寄せられた意見を十分に受け止め、今後の施策に活かしていく考えです。

アンケートのご協力、誠にありがとうございました。